

遠隔による自立活動の指導の好事例の蓄積と教師の指導力の向上という課題解決に向けた方向性を見出すために、遠隔による自立活動の効果的な指導の在り方の調査研究に取り組む。5つの小学校、2つの中学校を研究指定し、実践を通して障害種別に効果的な指導の在り方について明らかにする。

○背景1 県・学校の状況から

- ・臨時休校で明らかになった障害のある児童生徒の家庭における自立活動の指導の難しさが課題
- ・特別支援学級在籍や通級による指導を受けている児童生徒数の急増に伴う、担当教師の指導力の向上が課題
- ・障害のある幼児児童生徒が、個々の障害の状態等に応じてICTを正しく使いこなし、自分らしい生き方をしていけるようにするためには、ICTの利活用による教育の質の向上が重要
(第3次千葉県特別支援教育推進基本計画 重点項目)

○背景2 新しい時代の特別支援教育の在り方に関する有識者会議報告から

- ・オンラインを活用した自立活動の指導の可能性も鑑み、オンラインを活用した自立活動の指導の実施方法やその留意点について、実践的に研究を進めることが必要

【取組全体概要図】

